

病院からのご案内

◎睡眠ポリグラフ検査を始めました。

行岡病院では、本年7月より睡眠ポリグラフ検査を開始しました。あまりなじみのない用語ですので、簡単に以下解説いたします。

☆睡眠睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群(以下SASと略)は、睡眠中に何らかの理由により呼吸が「停止」または「低下」する病気です。「無呼吸」とは10秒以上の呼吸停止と定義され、この無呼吸が1時間に5回以上または7時間の睡眠中に30回ある場合、睡眠時無呼吸症候群(SAS)と診断されます。この病気を判定するためには、睡眠ポリグラフ検査と呼ばれる検査を受けることが必要です。

☆SASをほっておくと

SASは睡眠中に無呼吸、低呼吸を繰り返して起こす病態です。この状態をほっておくと、熟眠感がないだけでなく、その他の体の器官に悪い影響を及ぼします。代表的な合併症は、

【高血圧】【虚血症心疾患】【糖尿病】【脳卒中】などといったものがあります。ですから、SASを治療しないで放置しておくと、SASそれ自体よりむしろそれに係るその他の病気の方のリスクが多くなってしまいます。更に、集中力や記憶力の低下を招くことになります。

☆睡眠ポリグラフ検査とは

主に、睡眠中の脳波や眼の動き、呼吸、心電図、酸素飽和度(血液中の酸素の量)などを同時に記録します。これにより、睡眠中の呼吸状態、不整脈等がわかり、さらに脳波を測定すれば、睡眠の深さや質までわかります。

皆さんもぜひ、この機会に睡眠ポリグラフ検査を受けて頂き、健康な体を維持して頂きたいと思っております。

◎形成外科を開設しました。

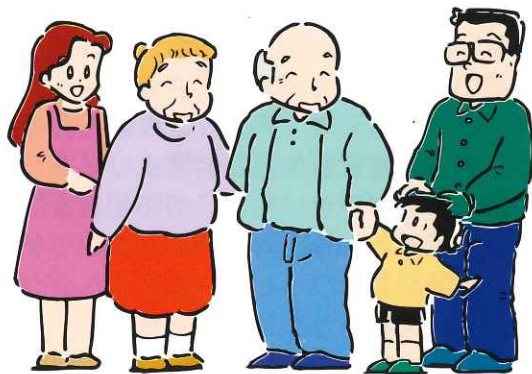
行岡病院では本年9月より、形成外科を1階皮膚科外来に開設しました。毎週木曜日午前中の診療日程です。

担当は、辻 隆治 医師です。以下は辻医師からのメッセージです。

☆形成外科での診療内容

大学病院では皮膚外科を担当しており、主に皮膚症、母斑(ほくろ)、粉瘤、脂肪腫の治療も行っています。当院では、これらの治療の他、褥創(床ずれ)、陥入爪(まき爪)、瘢痕(目立つ傷跡の修正)、熱傷(やけど)の治療を行っています。

また、悪性黒色腫(ほくろの癌)など抗癌剤治療が必要な方は、大学病院にて引き続き治療致します。



◎速報で〜す。

ゆきおか老人デイ・ケアのバザーを10月14日(金)に開催しました。その収益金の一部を、「パキスタン地震」の義捐金として寄附させて頂きました。皆様の御協力を頂きましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。

編集後記

表紙の写真は、11月3日の兵庫県宍粟市草木の光と影を表現した小さな秋です。今年は温暖化でなかなか樹々が紅くなりません。また我が阪神タイガースもリーグでは優勝、しかし日本一を奪回できず甲子園をイエロー一色にできませんでした。来年は、御堂筋パレード、銀杏並木を虎でより黄葉に、紅葉はより赤くそして鮮やかに、彩って欲しいものです。

(編集委員 M. T H. F)

ひこばえ

Vol.18

—ゆきおかニュース—

行岡病院・行岡学園 広報部 大阪市北区浮田2-2-3 TEL: 6371-9921(代)
行岡病院 <http://www.yukioka.or.jp/> 行岡学園 <http://www.yukioka.ac.jp/>



ネット社会の光と影

行岡病院 事務長代行 松田 雄二

冒頭からいきなりで恐縮ですが、皆様は「メールのレス」「ブログ」「ネットのチャット」といった言葉をご存知でしょうか。全てお分かりの方は、相当のネット通です。かくいう私はどれもあまり知りませんでした。レスとはレスポンスの略で、「メールのレス」とは電子メールの返信のこと。また、ブログは日誌、チャットは会話ができる場所のこと、と娘に教わりましたがまだよく理解できません。時折1日くらい経ってからレス(返信メール)を返すような私のレベルでは、電子メールのもつ即応性は殆どご利益がありません。

そういえば、10年ほど前の阪神淡路大震災の頃には、まだ携帯電話(今は「ケータイ」と書くようです)は普及していませんでしたし、第一、インターネットという概念さえ当時は一般的ではなかったと記憶します。今では小学生でもケータイを持ち、チャットを楽しむ時代ですから、彼らは物心がついたときから既に情報化社会の中で生活をしているわけです。

その昔、電卓さえなく計算といえば計算尺を使い、平方根を出すのに巻末の「平方根表」を見てようやく答えを見出していたようなアナログ世代の私達から見ると、現在のインターネットを基盤としたネット社会は、さながら“異星の空間”にのような気分です。

しかしながら、その一方でネット社会における情報管理の脆弱さや、危険性を感じてし

まうのは私だけでしょうか。近頃では小型のフラッシュメモリーが普及し、大量の情報が小さな機器に収められるようになりましたが、それを紛失したり盗難にあったりする事件があちこちで報道されるようにもなりました。幸い当院ではそのような事故は起きていませんが、先日院内で実施しました「個人情報漏洩対策セミナー」の中で、講師の方が盛んにパソコンのデータの扱いに注意するように説明されていたのが印象的でした。

セキュリティの面から必須事項であるパスワードやIDといった<暗号>も簡単に破られるような事件を知るにつけ、どうやらネット社会では、便利になる分だけ危険性が高くなるといった反比例の法則があると考えておくほうがよさそうに思われます。



講演会の開催

題名 腰痛をあきらめないで
演者 行岡病院 脳神経外科部長・脊椎脊髄センター部長 佐々木 学
場所 行岡病院多目的ホール
日時 平成17年9月10日(土)
 午後2:00～午後3:00
内容 腰椎椎間板ヘルニアと診断されて、長期入院が必要と諦められている方への朗報です。今回は日帰りのレーザー治療や、手術後1週間程度で退院できる顕微鏡を用いた手術について、実際のビデオを見て頂き解説しました。



題名 最近の救急救命処置について
演者 行岡病院 副院長・麻酔科 行岡 秀和
場所 山西福祉記念会館
 (北区六師会主催 区民講座)
日時 平成17年9月17日(土)
 午後2:00～午後3:00

内容 最新の救急救命処置につき、参加者に実習用模擬人形を使って心臓マッサージや人工呼吸を体験して頂くなど、実際に役に立つ救急救命処置の指導を致しました。講師自身の臨死体験を基に、少しでも早いタイミングで救命措置を行うことの重要性を分かりやすく解説しました。

題名 脳卒中後遺症をあきらめないで
演者 大阪大学脳神経外科・行岡病院神経機能外来担当 平田 雅之
場所 行岡病院多目的ホール
日時 平成17年9月24日(土)
 午後2:00～午後3:00
内容 脳卒中後遺症で、手足が突っ張って動きづらいつか、手足が我慢できないくらい痛いとか悩んでおられる患者様へ、最新の治療法をご紹介しました。

行岡病院では、地域の皆様との交流を図るため前記の講演会を開催しました。いずれも多くの参加者があり、講演会後のアンケートでは「圧倒的に分かりやすい内容で、時間があっという間に経ちました。」「もっと早く先生のお話を聞いておればよかった。」との声が多く寄せられています。

今後も引き続き地域密着型の病院として、更に皆様方のご要望のお応えすべく、さまざまな企画を用意しておりますので、ご期待下さい。



院内情報

- 6月21日(火)～24日(金)
職員健康診断
- 9月10日(土)
講演会「腰痛をあきらめないで」
(対象 地域住民)
- 9月17日(土)
講演会 北区六師会主催区民講座(対象 地域住民)

- 9月24日(土)
講演会「脳卒中後遺症をあきらめないで」(対象 地域住民)
- 9月30日(金)
院内結核感染対策マニュアル説明会(対象 全職員)
創傷ケア勉強会(対象 医師・看護師)
- 10月19日(水)
呼吸不全と人工呼吸勉強会(対象 医師・看護師)

- 10月27日(木)
個人情報漏洩対策セミナー(対象 全職員)
個人情報保護法が施行され半年が過ぎました。各方面でさまざまな事故や問題が発生しています。当院も全職員この法律を充分認識し遵守すべく大阪府私立病院協会より講師を招き職員全体を対象として啓蒙を図りました。

学園掲示板

戴帽式 歯科衛生科 山本 洋子

平成17年6月16日 歯科衛生科 第40期生が戴帽式を迎えました。

当科は、昭和40年に開校した大阪府下で、一番歴史の古い歯科衛生士学校です。

戴帽式は、机上では学べない臨床歯科医学を学ぶために、臨床現場に出る前に行うセレモニーです。厳粛な「水上の音楽」が響く中、戴帽生は舞台上で戴帽を受け、ろうそくの明かりを手に舞台に集まってきます。最初は小さな1本のろうそくの灯ですが、徐々に舞台を赤々と照らす大きな光となって戴帽生一人一人の顔を浮かび上がらせて行きます。これからの臨床現場に対する心の不安には「勇気」を、教科書とは違う様々な患者様への対応の難しさには「励まし」を与えてくれる光です。来賓の遠藤歯科診療所院長 遠藤昌樹先生からは心に残るご祝辞を、また理事長先生からは励ましの式辞を頂きました。戴帽生は、半年間の実習終了後には、知識や技術を身につけ一人一人が大きく成長できるよう、常に前向きに努力する事をご出席の皆様の前で誓いました。

ご列席頂きました多くの保護者の皆様方やご来賓、理事長先生を始め教職員の方々に滞りなく終了できましたこと、紙面をお借りしまして改めて御礼申し上げます。有難うございました。



防犯訓練 臨床検査科 北條 達雄

去る、8月23日(火)長柄校舎近畿医療技術専門学校2階会議室において、学園と親和会の共催による防犯教室を開催いたしました。当日は天六、茨木の2校舎を含めて約40名の職員参加の中、曾根崎警察署生活安全課より3名の署員の方々に御来校頂き御指導を賜りました。この防犯教室は2部構成で、まず1部は街頭犯罪と女性に対する犯罪というテーマでお話を頂きました。街頭犯罪はひったくり等ほとんどが女性をねらった犯行であり、その犯行手口及び防止法、又、被害を受けた後の精神的不安についてもお話を頂きました。女性をねらった犯罪である、ストーカー、痴漢、暴力行為についてはビデオによる解説を頂きました。2部では暴漢に対する護身術と不審者に対処するための「刺す又」の使い方を教授頂きました。暴漢に手を掴まれた際、3種類の逃れ方、又、前後から抱きつかれた時の逃れ方を参加者全員が2人1組になって訓練し、「刺す又」を使い暴漢を抑え込む術を学びました。これらの方法は、あくまでも緊急避難であるので、逃れたり、抑え込んだ後は速やかに、又、事件発生と同時に他の職員が警察に通報するようにとの事でした。

今回、この教室を実施したことによって教職員の防犯意識が向上し、有意義なものであったと考えます。今後は、本学園に学ぶ学生への防犯教室の開催も計画して行きたいと思います。



学園情報

- 6月16日(木)
戴帽式(歯科衛生科)
- 8月23日(火)
防犯訓練
- 8月23日(火)～25日(木)
職員健康診断

- 9月2日(金)
防火訓練(長柄校舎)
北消防署より3名来校頂き長柄校舎全教職員および昼間部全学科全学生(鍼灸科・臨床検査科・放射線科)で自衛消防訓練を実施しました。

- 10月1日(土)
入学試験(一般)の受付開始
- 10月20日(木)
戴帽式(看護第1学科)
1年生43名全員が臨地実習・校内実習に先立ちナースキャップを頂きました。